

カーボンニュートラルへの挑戦

全国表彰 環境カウンセラーの活動 安澤 典男さん(事業者部門)

第5回環境カウンセラー環境保全活動表彰(2023年)【脱炭素社会貢献賞(事業者部門)】

受賞理由

- 協力** 北海道環境カウンセラー協会で自治体の環境施策推進に協力。
- 人材育成** 行政やエネルギー関係機関の依頼を受け、エネルギー管理士登録特別研修やエネルギー管理員養成研修の講師を担当。
- 省エネ** 中小企業の省エネ対策を進めるため、診断・対策実行・効果検証の支援システムを構築。
- 脱炭素** 自治体の水素関連産業参入プラットフォーム事業に参加してさまざまな技術開発を進め、移動式水素ステーションと燃料電池車(FCV)の導入を推進。

取り組みの背景

2050年カーボンニュートラル^{注1)}の実現に向けて、産業界などが総力を挙げて取組まなければならない。しかし、中小企業の多くは、カーボンニュートラル技術の社会実装が、非常に厳しいとの思いから具体的な支援策を考慮して活動した。

注1) カーボンニュートラルとは、二酸化炭素などの温室効果ガスの「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。



安澤典男(あんざわ・のりお)さん経歴
新日本製鐵(株)(現、日本製鐵)1997年退職、ノーステクノリサーチ(株)(現、日鉄テクノロジー)へ転籍、常務取締役を経て2005年(公財)室蘭テクノセンターに勤務、2016年退職、非常勤で現在に至る。鉄鋼製造プロセス・設備技術開発、集塵・騒音対策技術開発および中小企業の省エネ支援事業などに従事。室蘭工業大学非常勤講師などを歴任。特許等出願約160件。

取り組み

(1)低炭素社会実現に向けた省エネ人材の育成

- 省エネ人材育成に資する講習会、セミナー、研修会などの講師をつとめる
- 新たな視点から省エネ対策を考えるヒント 注2)を「月刊省エネルギー」に掲載
注2)キーワード:「ゼロベース」「設計思想」「管理標準」

(2)省エネ支援システムの構築・実行・普及啓発(中小企業省エネ対策の確実な推進)

- 診断から対策実行・効果検証までを一貫支援するシステムを構築し、省エネ対策を確実に推進
- 省エネ相談地域プラットフォーム(PF)構築事業の全国研修会で講演、本システムの有効性を全国のPF事業者を紹介

(3)水素関連技術調査研究からビジネス展開を支援

- 地域中小企業が水素関連産業へ新規参入する方法として、「研究開発」「先行企業との連携」「水素ステーション(ST)の高度利用」の三つの視点が有効として、水素ST用フレキシブルホース開発や大阪市Y社との連携などを推進

